

## 遠絡統合療法 基礎医学セミナー

### 1. 遠絡統合療法の概要

1

## 創始者



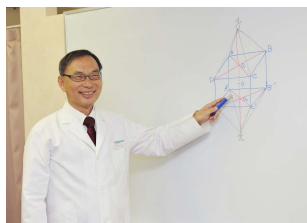
柯尚志 医師

### 略歴

昭和56年 鹿児島大学医学部卒業 鹿児島大学病院勤務  
 昭和59年 九州大学麻酔科勤務  
 昭和61年 国立九州がんセンター放射線科勤務  
 平成7年 上海中医薬国際鍼灸科研修生  
 医療法人ゆりの会 舞の里内科クリニック開業  
 平成14年 ベレス・銀座クリニック開業  
 第1回遠絡療法セミナー開催  
 日本ENRAC医学会設立  
 平成15年 第1回遠絡療法台湾セミナー開催  
 平成19年 シンガポールベイン学会特別講演  
 米国麻酔医学会特別講演(サンフランシスコ)  
 中国麻酔疼痛医学会特別講演(北京)  
 平成20年 米国NATA(全米アスレチックトレーナーズ協会)特別講演(セントルイス)  
 米国DUKE大学講義(ノースカロライナ)  
 国際疼痛医学会特別講演(ソウル)  
 平成22年 第11回国際統合医学学会発表  
 平成24年 第30回日本歯科東洋医学会記念学術大会特別講演  
 平成28年 67歳にてご逝去

2

## 遠道相応穴位経絡療法



3

## 遠絡療法 から

## 遠絡統合医学・遠絡統合療法へ



BODY = 身体

LIFE = 生命

4

## 遠絡統合医学の使命

「治病救人  
 医生济世」

5

## 東洋医学では

気(生命エネルギー)の通り道である「経絡」が内臓、組織、筋肉、皮膚などをつなぎ、身体全体の機能を調整している。

人体には血液、リンパ、髄液、神経伝達等様々なものが流れている。

→ 「ライフフロー」

6

## 東洋医学における 古典的基本概念

### 「不通則痛、通則不痛」

滞りによって痛みが発生している  
滞りがなければ痛みはない

7

ライフフローが滞ったり阻害されると、  
痛みや病気が起こる



ライフフローの調整が大事



ライフフローの調整に経絡を用いる

8

## 遠絡統合療法の治療効果は

血液、体液の流れ  
ホルモン、電解質のバランス  
神経系の反応、機能  
組織の修復、免疫力の促進

**本来の状態に導くことが目的**

9

## 遠絡統合療法では

経絡を **「ライン」** と呼ぶ

生命の営みを

**「ライフフロー」** と呼ぶ

10

## 遠絡統合療法の特徴①

◆各患部のライフフローを調整するために  
用いる**ラインの選択に明確な理論**がある

法則を理解すれば、すぐに治療方法を  
組み立てられるようになる

11

## 遠絡統合療法の特徴②

◆**治療の手順が記号化**されている  
記号を読めば、誰でも同様に治療できる

多くの経験を積まなくても、  
すぐに治療効果を出すことができる

12

### 遠絡統合療法の特徴③

- ◆西洋医学的観点では細分化されている  
神経・血管・リンパの病態を  
ラインからの治療でひとまとめに  
アプローチすることができる

13

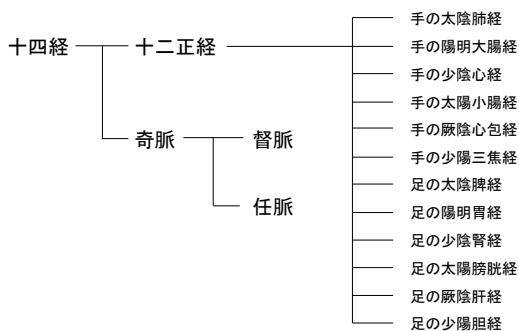
### 遠絡統合療法の治療効果

- ◆体液の流れを促す
- ◆神経の健全な伝達を促す
- ◆潜在する機能を引き出す
- ◆機能を整える

**瞬間  
消痛**

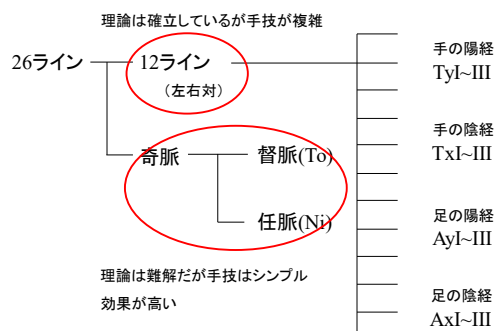
14

### 十四経



15

### 生命活動のベースとなるライン



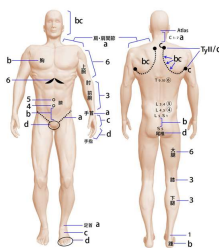
16

### 遠絡統合療法の治療の仕組み

ライン



レベル



治療対象部位をラインとレベルで見据える

17

### 経穴

経絡上の関所

病気の発生時に痛みが出るなどの  
反応を起こして発病を全身に告げる

18


### 遠絡統合療法の診立て

症状・部位から  
ラインの流れを診る

↓

流れの滞りの原因  
一点を治療する

根本の原因を治療することで、  
関連するすべての症状が解消される



19

### 治療に使う道具

押し棒

イオンパッチ

青本  
(症例集)

ENRAC人形



20

### 治療に使う道具

SHEEP

トリンプルD

トリンプルLED

鳩尾押し



21

### ENRAC人形の活用

診断

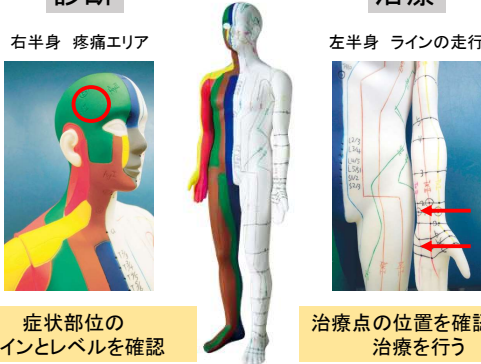
右半身 疼痛エリア

治療

左半身 ラインの走行

症状部位の  
ラインとレベルを確認

治療点の位置を確認して  
治療を行う

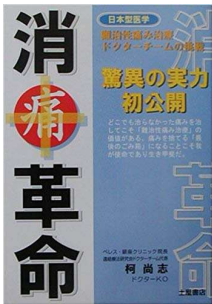


22

### 書籍 消痛革命

2点押圧で  
70%消痛

痛み治療の新提案



23


### 書籍 痛みとしびれの処方箋

九州大学大学院医学研究室麻酔科蘇生学  
外須美夫教授

現代の医療は薬に依存しすぎている。もし薬なしで痛みを和らげることができたら、どんなに素晴らしいことだろう。本書は、薬も注射も必要としない新しい痛み治療法を解説したものである。その不思議なパワーに期待したい。

北里大学医学部麻酔科学 診療准教授  
金井昭文医師

痛み治療の新たな可能性を切り開く(遠絡療法)の全体像を分かりやすく解説した本書は、耐えがたい痛みを抱える多くの方々にとって救済の書となるでしょう。最先端医療に携わる痛み専門医師にこそ読み込んでいただきたい一冊です。



24

## 遠絡統合療法の良さ

遠絡統合療法は、難治症状に苦しむ人を救うことのできる治療者を増やすために開発された治療法

### ① 鍼や灸を使わない

資格・専門を問わず どこでも施術可能  
※治療として行う場合は、医療系国家資格が必要

### ② 薬や注射を使わない

副作用がない 体に負担をかけない

### ③ 痛いところに触らない

患部を物理的な刺激で悪化させることがない

25

## 遠絡統合療法の良さ

患者さんにとって身近なスタイル



指圧  
ツボ押し

副作用がなく、安全な治療だと理解してもらえれば  
遠絡統合療法ほど安心して受けられる治療はない

人形などを使ってイメージしやすく説明できる



26

## 遠絡統合療法の良さ

- ① 治療に使うのは 棒とレーザー
- ② 副作用がない
- ③ 経絡と経穴が記号化されている
- ④ 子午流注、五行図、六行図などを使い、  
治療法が公式化されている  
⇒ 公式を学べば、誰でも同じ治療法が  
導き出せる
- ⑤ 誰が施術しても再現性が高い

27

## 既存の治療は・・・

- ① 血行改善を目的とした処置
- ② 鎮痛剤やビタミン剤等の薬
- ③ 神経抑制薬  
ブロック注射等
- ④ 精神薬



28

直接的な治療では、  
越えられない専門領域の壁がある

遠絡統合療法では、治療に専門領域の壁がない

なぜなら、ライン間の調整こそが  
正常な生命活動を支える流れになるため

ライン間を接経で調整することは  
全てのライフフローを動かすことになる



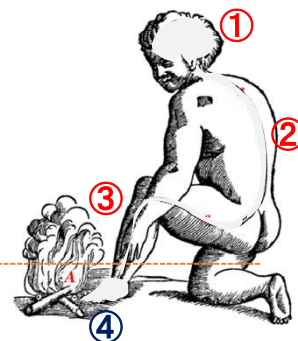
29

## 治療方針を決める大切な病態の診かた

- ① 脳
- ② 脊髄
- ③ 脊髄神経
- ④ 末梢部

中枢

局所



30

## 遠絡統合療法の有用性

- ① ライン間の関係を再建することは、正常な生理機能の回復につながる。
- ② 生体に及ぶ変化は、患者自身の潜在的機能であるから副作用がない。
- ③ 既存の医療とアプローチ法や目的が異なるので、相乗効果が期待できる。
- ④ 神経機能の連携を引き出す治療である。



31

## まとめ

- ① 生体の生命活動は、26本のラインと密接な関係がある。
- ② 病態は、局所と中枢の2つの考え方で診る。
- ③ 中枢治療には2つの組み立てがある。
  - 1) 中枢～末梢の五行の関係での再建
  - 2) Toを中心とした中枢部の再建
- ④ 中枢治療とは生命活動の機能連携を促す。

32